

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2019年12月16日

商工中金

自律移動型の警備ロボットを開発するベンチャー企業 SEQSENSE 株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間の要する分野に取り組む創業間もない中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（本店営業部）は、SEQSENSE 株式会社様（本社：東京都千代田区、代表者：中村 壮一郎氏）に対し、ロボットの量産化や今後の事業展開に必要な資金2億円を融資しました。

同社は、自律移動型の警備ロボットを開発するベンチャー企業です。同社が開発した警備ロボット「SQ-2」は、レーザー光を使ったセンサーで対象物までの距離および位置や形状を正確に把握し、自律走行を行い、超音波センサーなどを組み合わせることで、異常の検知を行います。また、各種センサーと高度なAI機能の搭載により、人間では発見が難しい火災の原因となる発熱を検知し、従来のカメラ等では捉えることが困難な暗闇や死角となる部位を監視することができ、長時間にわたる警備業務が高い精度で実現できます。

同社は、今後の実用化に向け、三菱地所株式会社や総合警備保障株式会社と連携し、量産化を進めるとともに、オフィスビルのみならず、商業施設、物流施設、空港、ホテル、大学等への導入を計画していきます。

商工中金は、同社の取り組みが、慢性的な人手不足や高齢化に悩む警備業界の課題解決に貢献するものと考え、外部ヒアリングなどの事業性評価を行ったうえで、今後の事業展開に必要な資金を融資しました。

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【SEQSENSE 株式会社様の概要】

所在地	東京都千代田区内幸町2-2-3
代表者	中村 壮一郎様
資本金	12億304万円（準備金含む）
従業員数	24名（2019年11月現在）
設立	2016年10月
業種	産業用ロボットの開発・製造



【同社が開発した警備ロボット SQ-2】